

DIGITAL CLAMP METER MODEL -2100

取扱説明書

このたびは、MODEL-2100をお買い上げいただきありがとうございます。本器は当社のすぐれた技術から創り出された信頼性の高いクランプメーターです。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、本器の操作に十分慣れてください。お読みになったあとは、後日お役に立つことでもありますので、必ず保管してください。

Let's Create
New Concepts of Instruments

MULTI マルチ計測器株式会社

本社 東京都千代田区佐久間町1-26 村井ビル7F
〒101-0025 電話 03(3251)7013代 FAX 03(3253)4278
野田工場 千葉県野田市宮崎53-8
〒278-0005 電話 047(125)8853 FAX 047(123)9488
Homepage: <http://www.multimic.com/>
E-mail: multi@multimic.com

サンプルレート: 2回/秒

オーバー表示: 最上位桁「1」が点滅 (但し 2000Vレンジを除く)

データホールド: 「DH」表示をするときに表示値をホールド

電池消耗表示: 「B」マーク点灯

入力極性表示: 「V」の逆極性入力時のみ「-」表示

オートパワーオフ: 電源ON後、約10分で自動的に電源OFF (再延長不可)

使用回路電圧: 600V以下

耐電圧: AC550V 1分間 (鉄心・握り部間)

精度保証温湿度範囲: 23℃±5℃、80%RH以下 (結露のないこと)

使用温湿度範囲: 0~40℃、80%RH以下 (結露のないこと)

保存温湿度範囲: -10~60℃、70%RH以下 (結露のないこと)

電源: 乾電池UM-4 (R03) 1.5V×2本

消費電力・電池寿命: 約3.5mW、連続約500時間

寸法・重量: 約85(W)×240(H)×34(D)mm、約350g (電池含む)

〔測定範囲および精度〕

保証温湿度範囲23℃±5℃、80%RH以下、結露のないこと。

レンジ	精度	最大許容入力
~A (50/60Hz)	20A	±1.2%rdg±10dgt
	200A	"
	2000A	±1.2%rdg±8dgt
~V (50/60Hz) ~V	2V	±0.7%rdg±5dgt
	20V	±1.2%rdg±5dgt
	200V	"
	600V	"
Ω (OHM)	200Ω	±1.2%rdg±5dgt
	2K	"
	20K	"
	200K	"
	2000K	"
*)) (導通 チェック)	20M	±3%rdg±10dgt
	2KΩ	<約300Ω
~ (ダイオード テスト)	2V	±(10%rdg±3dgt)

rdg: reading, dgt: digit

~Aは、被測定導体の位置を中央にした時とする。

2000Aレンジにおいて1200A~2000Aは短時間定格とする。

安全にご使用いただくために

本器を安全にご使用いただくため、取扱説明書に記載されている注意、警告の内容は必ず厳守してください。

警告 取扱いを誤った場合に、取扱者の生命や身体に危険がおよぶ恐れがあります。その危険を避けるための注意事項です。

注意 取扱いを誤った場合に、取扱者が傷害を負う恐れのある場合や機器を損傷する恐れがある場合の注意事項です。

本器および取扱説明書には、安全に使用していただくために次に示すシンボルマークを使用しています。



取扱いに注意を示しています。人体及び機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要があります。

警告

感電の恐れがあります。

●本器は低圧用です。AC600V以下の電路で使用してください。

測定の前には回路電圧の確認を行ってください。

●測定は被覆線のみとし、裸線にはクランプしないでください。

感電や感電事故の恐れがあります。

●雨や湿気にさらされた状態、水滴が付着した状態や濡れた手での操作は避けてください。

●本体ケースやクランプCTケースに損傷のある場合の使用は避けてください。又、電池カバーが外れている場合は測定をしないでください。

●クランプCTの先端部に衝撃を加えないでください。

●本器を分解しないでください。

●250V以上の大容量電路での電圧測定は安全上、絶対に避けてください。

●電池を交換するときは、テストリード等を測定回路からはずして交換してください。

本器を破壊する恐れがあります。

●抵抗測定、ダイオードテスト位置にて、テスト棒両端に電圧は絶対に加えないでください。故障の原因になります。

仕様

測定機能: 交流電流(~A)、交流電圧(~V)、直流電圧(=V)、抵抗(Ω)

電流測定方式: CTクランプ方式

CT窓径: φ55mm

測定レンジ: ~A: 20A/200A/2000A(50/60Hz) マニュアル

~V, =V: 2V~600V (オート)

Ω: 200Ω~20MΩ (オート)

導通: 2kΩ ダイオードテスト: 2V

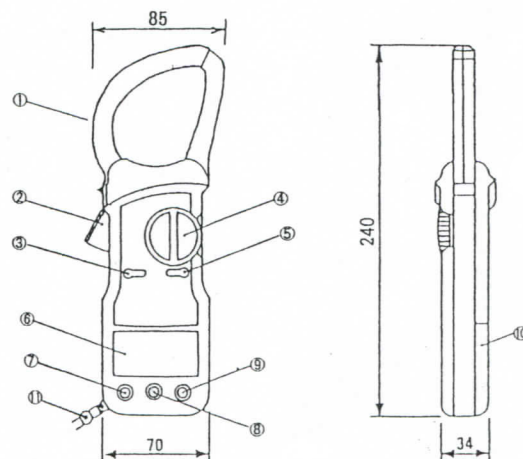
切替方式: ロータリースイッチ、8レンジ

表示器: 3 1/2桁 液晶表示 単位、記号付

動作方式: 積分方式

取扱方法

〔各部の名称と説明〕



①クランプ式CT: 電流検出用センサでクランプ式になっています。

②開閉レバー: 内へ押すと、クランプ部が開きます。

③POWER「電源スイッチ」: 押すと電源がオンになり、表示が点灯します。再び押すとオフになります。オートパワーオフ機能により電源投入から約10分で電源がオフになります。

④レンジスイッチ: 電流・電圧・抵抗のレンジ切替スイッチです。

⑤D・HOLD「データホールド」: 表示中のデータをホールドします。押すとデータがホールドされ「DH」マークが点灯します。再度押すと解除します。

⑥表示部: 測定値のデジタル表示、単位記号及び電池状態を表示します。

⑦V端子: 電圧を測定する時、本端子とCOM端子を使用します。

⑧COM端子:

⑨Ω/μ端子: 抵抗、ダイオード測定する時、本端子とCOM端子を使用します。

⑩電池カバー: 電池を交換する時にはずします。

⑪ハンドストラップ: 測定の時、手首へ通して本器の落下を防止します。

〔測定方法〕

安全にご使用いただくために記載されている注意・警告の内容は厳守してください。

▶交流電流測定

- 1) 電源スイッチ③を「ON」にします。
- 2) レンジスイッチ④で測定レンジを選択します。
(推定測定電流より、大きめのレンジに設定します)
- 3) クランプ部を開き、測定したい電線1本をはさみ込み
クランプ部を完全にとじます。レンジを最適値にします。
- 4) 表示値を読み取ります。(オーバーレンジの時はOLと表示します)
- 5) 読み取りにくい場所では、データホールド⑤を活用します。



⚠ 注意

損傷の恐れがあります。

- 電流測定はCTに過大電流を印加しますと、発熱し、本器を損傷する恐れがあります。本器には2000A以上の電流を印加しないでください。

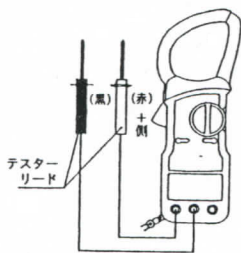
- (注1) 被測定電線はなるべくCTの中央に位置してください。
- (注2) 電線は必ず1本だけクランプしてください。キャブタイヤ、平行ビニール線など一括クランプした場合は測定できません。
- (注3) 大電流を印加した場合、CTから振動音が出る場合がありますが、異常ではありません。又、2000Aレンジにおいて、1200A～2000Aは短時間定格ですので、長時間の測定はできません。

▶交流電圧(～V)の測定

- 1) レンジスイッチをACV～に合わせます。
- 2) テストリードを被測定部分に当てます。
- 3) 表示値を読みとります。

▶直流電圧(=V)の測定

- 1) レンジスイッチをDCV = に合わせます。
- 2) テストリードを被測定部分に当てます。
- 3) 表示値を読みとります。



⚠ 警告

感電の恐れがあります。

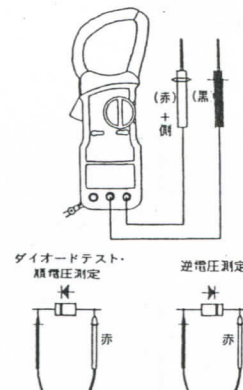
- 測定リード線は消耗品ですので、接続する前に絶縁被覆に損傷のないことを確認してください。異常がある場合はご使用を直ちに中止して、修理又は新品と交換してください。
- 焼損・火傷の恐れがあります。
- リード線の接続は確実に行ってください。接続を誤ると、スパークする場合があります。

▶抵抗(Ω)、導通(●)測定

- 1) レンジスイッチをΩ又は●に2kΩに合わせます。
- 2) テストリードを被測定部分に当てます。
- 3) 表示値を読みとります。

▶ダイオードテスト(▷)

- 1) レンジスイッチを▷に合わせます。
- 2) 順電圧を測定する場合、図の様にテスト棒を接触させます。
ノーマルなダイオードでは0.4～0.7Vの範囲で測定が行われます。
- 3) 逆電圧を測定する場合は、図の様にテスト棒を接続します。
逆電圧ではノーマルなダイオードに対して1,500付近の表示をします。(電池電圧)



⚠ 注意

損傷の恐れがあります。

- 抵抗測定、ダイオードテスト時、誤って電圧を印加しますと内部が損傷する場合があります。

電池の交換

⚠ 警告

感電や感電事故の恐れがあります。

- 電線をクランプした状態、あるいは、電圧を測定している状態で電池を交換しないでください。
- 電池ケースをはずしたままの使用は避けてください。

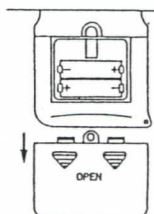
⚠ 注意

本器を長時間使用しない場合は、電池をはずして保管してください。
電池が液漏れを起こし、本器を損傷する恐れがあります。

- 電池が消耗して動作電圧以下に低下すると、表示部に「[B]」マークが点灯します。速やかに新しい電池と交換してください。
- 新しい電池と一度使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

交換方法

- ・本体裏面下側にある電池ケース止めネジを④ドライバーで外し、電池ケースを矢印の方向にスライドし、外します。
- ・消耗した電池2個を取り出します。
- ・極性を確認し、新しい電池を挿入します。
(単4形乾電池)
- ・電池ケースを元に戻し、止めネジをしっかりと締め付けます。



アフターサービス

万一故障した場合は、お手数でもお買い上げいただいた販売店へ直接お持ち込み下さい。なお、都合の悪い場合は、弊社まで郵送願います。郵送する場合は、本器を柔らかい紙、または布で包んで外箱(ダンボール等)に収納し、住所、氏名、電話番号を明記した保証書といっしょに簡易書留で郵送して下さい。

保証について

本器は厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障の際は、お買い上げいただいた販売店または当社へお申し付け下さい。なお、本製品の保証期間はご購入日より1年です。この間に発生した故障で、原因が明らかに当社の責任と判定された場合には無償修理いたします。

保証書

※御使用者 住 所 氏 名	
MODEL NO M-2100	SER NO
保証期間 年 月より1ヵ年	

お願い 本保証書はアフターサービスの必要となります。
お手数でも※印箇所にご記入の上本器の最終御使用者のお手許に保管してください。

保証規定

- 1 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は保証規定に基づき無償で修理いたします。
- 2 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
- 3 保証書の再発行はいたしません。
- 4 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
 - a 不適当な取扱い使用による故障
 - b 設計仕様条件等をこえた取扱い、使用または保管による故障
 - c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
 - d その他当社の責任とみなされない故障

販売店名